

教育センター便り

長野市教育センター
長野市大字鶴賀550番地2
TEL 026-226-7486
FAX 026-264-7570
責任者 今井 睦俊



炎昼に思い募るや応援歌
(碓水 悠太)

コンビニに涼しさ求めて
とばすチャリ (大内 知季)

道端で寝転ぶ猫と見る夏花
(松橋しずく)

時止まり悔しさ胸に終わる夏

(依田 紗穂)

君探す人混みの中夏祭り

(花岡 花凜)

紫陽花が水滴を着る雨上がり

(高橋侑一郎)

北部中学校 三年

俳句の授業から

学びと変革

長野市校長会長 佐藤 裕美
(更北中学校)



25年程前、長野市教育センターの教育研究委員を2年程させていただいた。それまで研究という研究をしてこなかった自分にとって、授業とはいかにあるべきものか、委員の先生方から本当に多くのことを学ばせていただいた。教材研究のあり方、

授業づくりのあり方、指導案の書き方、授業実践のあり方、子どもの見取り方等、これまで我流でやってきたことがなんと稚拙で、子どもに力をつける授業にならなかったことを痛感させられた。知らないということは恐ろしいとも感じた。研究委員という機会をいただいたことに本当に感謝している。

同好会では名前だけ会員という感じだった自分が、わけもわからず全県公開授業をやることになり、自校の同教科の先生方、市内の国語科の先生方に助けていただきながら、子どもたちと共に多くのことを学ばせていただいた。

今から振り返ると、あの時、研究委員や公開授業をやらせていただく機会がなかったら、自分は教科の授業を我流のまま進歩もなく延々と続けていたのではないかとも思う。教師の本分は授業。授業の腕が上がらないことには本分を果たせているとは言えないと思う。子どもたちの未来を拓くためにも全教科年間で1000回を超える授業をどのようなものにしていくか。自分一人ではできることは限られてくる。井の中の蛙となることなく、内から外に目と気持ちを向けて、研修、研究の機会を自らも

たないといけないと切に感じている。

今、国際的にも自国的にも情勢変化は著しい。まさしく予測不能な情勢、状況である。自分が生きてきた社会も多くの変化はあったが、ここまで急速かつ著しいものではなかったのではないかと。そんな今を生きる子どもたちに将来の夢は何？と聞くとき即答できる子どもは多くはない。年頃ということもあり胸の内に秘めて人には言わないということもあるかと思うが、もっと自分に自信をもって将来の夢や目標を語れるようになってほしいと思う。各種調査の中には3割超の生徒が将来の夢や目標がないという回答結果の調査もある。子どもたちには将来に夢や希望を持ち、自分の力を信じ、予測不能な社会を生き抜いていく力を身に付け、たくましく生きていってほしいと切に願っている。そのために我々教師が担っている役割は小さくない。

現在、学校は課題が山積みという様相もあるが、その課題解決の源は学校生活のほとんどを占める授業にかかっているようにも思う。100年前と同様なスクール形式での机の配置、黒板とチョークと板書、教科書に沿った教師の説明、ノートと鉛筆、板書の書写…。100年たっても変わらない教室風景もすべて悪いわけではないが、変革も必要な時ではないか。不易流行の不易をはき違えず、進歩を求めて常に変化し続けていきたい。教師とは？毛涯章平先生は「教師は親ではない、兄弟でもない、友達でもない、ガキ大将でもない、ただそのすべてでありたい。」教師がずくさえ惜しまなければ子が育つとも言われていた。AIに教師の代わりは務まりそうもない。変革の時代、とにかく不易流行、我流から一歩進んだ子どもたちの未来を生き抜く力を育むために研修、研究を一日一日、一步一步積み上げていきたいと思う。

研修講座（理科教育センター） ～興味や疑問を生かす理科授業づくり～

5月14日 小学校中学年の学習にかかわる講座

	講座名	内容
1	花粉の不思議	花粉のプレパラートづくりや花粉管の観察について知り、花粉管の成長の様子を観察しました。
2	大気圧を実感しよう	大気圧について、天気との関係を学び、具体的な操作を通して大気圧を実感しました。
3	昆虫の育ち方（カブトムシを育てよう）	昆虫の観察を通して食べ物やすみかの特徴がわかることやカブトムシの一生や飼育方法について学びました。（幼虫の配布）

《参加者の感想》

花粉の世界がとても興味深かったです。ぜひ子どもに伝えたいです。大気圧については、数字を見ただけでは感覚的によくわかりませんが、実験で体験するとよくわかりました。〈抜粋〉

5月16日 小学校高学年の学習にかかわる講座

	講座名	内容
1	スケルトンリーフを作ろう	葉脈標本づくりをして、ラミネートやレジンで封入して観察用の標本をつくりました。
2	「イワシが食べている物」を見てみよう	水中の生物の食物連鎖の例として、煮干し（カタクチイワシ）を湯で戻したものを解剖して胃の内容物を取り出し、食べた微生物を顕微鏡で観察しました。
3	プログラミングをして電気を効率よく利用しよう	「電気の有効利用」の小単元でのプログラミング的思考とは何かについて学び、理科教育センターで児童が使っているmicro:bitやソフトウェアを使って実際に体験しました。

《参加者の感想》

どれも初めてするものばかりで、本当に楽しく学べた研修でした。様々なコツややり方の工夫がいること、教材の選び方などを知れました。この楽しさを子どもたちにうまく伝えていけるように頑張っていきたいです。

今までで、初めてのおもしろい理科の授業でした。今自分が実験しているものが何なのか、どうしてやるのか、実生活とどうつながっているのか、そういう理解が今まで薄かったのだと思います。今日のワクワク感を子どもたちにも伝えられるような授業をしたいです。〈抜粋〉

（池田 淑恵）

キャリアアップ研修II「教師力向上研修」 ～ミドルリーダーとして求められるもの～

9月12日に行われたキャリアアップ研修II「教師力向上研修」では、前半に信州大学教職支援センターの小山茂喜特任教授をお招きし、「ミドルリーダーとしての教師の在り方」という演題で講義を行いました。後半は「教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメント」をテーマに教育センター指導主事が演習を行いました。

前半の講義では、社会が変化し、教師に求められる資質・能力が変化していること、そして、学校組織を考えるうえで、ミドルリーダーとして求められる役割について教えていただきました。ご自身の体験なども交えながら、多角的な視点から教師についてお話をいただきました。

◇受講者の感想から

- これまでは、学級経営や教科指導に尽力してきました。10年目を迎え、今後は学校全体の運営にも関わっていけるようになりたいです。そのために、「どうしたら学校が良くなるのか」をみんなで考えていきたいです。小山先生のお話から「知って、経験して、継承していく」ミドルリーダーとして「みんなで創っていくこと」を大切にすべきであると学びました。
- 教育実践を文化にしていけるのが「ミドルリーダー」の仕事であるというお話が心に残りました。文化のよさを見出したり、見抜いたりして職場に広げていくことがミドルリーダーに求められることではないかと感じました。その年の研究や取り組みだけで終わらせないこと。そして、その研究や取り組みの本当のよさを見出し、つなげていくことのできる教師を目指したいです。

後半の演習では、自校のプラス面やマイナス面を挙げて分析しました。その後、グループで共有し、お互いに発表とアドバイスをを行いました。



【自校の分析結果を発表する姿】

「多角的な見方で捉えること」と「あるものを活かすこと」の2つの視点を大切に考え、演習の中で自校のよさについて考えを深めることができました。

◇受講者の感想から

- SWOT分析により、自分の学校のことを客観的に見ることができ、今まで見えていなかったプラスの面を見つけることができました。また、他校の先生方の話を聞く中で、更なる発見もあり、有意義な演習となりました。
- 先生方と話して、どの地域にもどの学校にも魅力があることを実感しました。これらの良さを活かせるような学校にしていきたいです。

（末松 辰規）

特別支援教育にかかわる研修講座

長野市教育センターでは特別支援教育にかかわる研修講座を指定・希望あわせて7講座開催しています。また、初任者・キャリアアップI・管理職の研修にも特別支援教育を位置付けています。子どもたちに関わるすべての教職員に、特別支援・発達特性についての知識を持って子どもたちに接していただきたいと願っています。特別支援教育に関してはたくさんの専門知識が必要で、7講座では十分ではありませんが、必要に応じて学ぶことができるように、過去の研修で撮りためてきた研修動画をポータルサイトから見るようにしました。

【絆プロジェクト】
お互いを認め合い、多様な個性が生まれ、全ての子どもたちが自分のよさを発揮できるようなインクルーシブな学校づくりを推進する。

21 特別支援教育に関わる自学自習を支援するオンライン教材のページ

しなやかな学び 絆プロジェクト 支援ページ 【絆プロジェクト】 支援ページ

研修番号	研修名称	講師	実施した研修場名
①	「障害のある子どもと学ぶための実践的アプローチ」 約1.5時間	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【令和5年度 長野市特別支援教育実践科 及び協働的ケア協議員研修会】 令和5年7月3日（月）～7月21日（水）
②	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
③	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約1.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
④	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑤	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑥	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑦	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑧	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑨	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑩	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑪	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑫	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑬	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑭	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑮	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑯	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑰	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）
⑱	「協働的ケア実践ワークショップの活用（実践発表）」 小・中学校 協働4専任の先生発表（約2.5時間）	長野市立小学校 佐藤 真由美 氏	【協働的ケア実践ワークショップ研修会】 ～3Dプリンタのあり方と実践～ 令和5年7月3日（月）～7月7日（金）

今年度は初めての特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターが研修をしながら質問もできるように、教育相談や学校教育課の指導主事が情報交換のグループに入って意見交換をしました。また、特別支援教育コーディネーター連絡会と研修講座を一緒に行うことで、多くの先生方に研修講座の講義を聞いていただけるようにしたり、コーディネーター研修をオンラインで配信することで自分の学校で多くの先生方に視聴いただけるようにしたりしました。すべてのニーズに応えていくことは難しいですが、できる限り希望に応え、学びやすい研修を工夫していきたいと考えています。（大上みどり）

学校での生成AIの活用に向けて②

昨年度に引き続き、学校での生成AIの活用に関する研修講座を開催いたしました。受講者の皆様、AIの活用の感想を、お知らせします。

信州大学 小山茂喜先生

（教育でのICTや生成AI等の活用の勘所 -ICTで学びの改善、AIの校務活用等- より）

驚きを持って受講できました！

- AIの凄さに驚いた。アイデアを受け取りたい時に使っていきたい。生徒に使わせるときは、AIの注意点到十分留意して指導していきたい。
- 生成AIについても自分自身では使ったことがなかったもので、それぞれに特徴があり得意なことなども詳しく教えていただきありがたかったです。いざ使ってみると、生成速度の速さと構成力に驚きました。

AIを使ってみて、世界が広がりました！

- Open AIは今まで使ったことがありませんでした。というよりも、使う必要がないと思っていました。しかし、遊びで使ってみると、学級通信の文章を作ってくれたり、文章の検閲をしてくれたり、エクセルの関数の作り方を教えてくれたり、便利に使えるようなヒントがたくさん詰まっていることがわかりました。
- 研修講座を受講して、新たな視点を獲得することができました。特に、学習者の個々のニーズに合わせたカスタマイズ可能な教育方法や、AIを活用しての教材開発の可能性に驚きました。これらの技術を教育現場で実践することで、より効果的で魅力的な学びの環境が実現できると感じました。

働き方改革や授業の展開に寄与する！

- チャットGPTを初めて利用しました。何ができるか、どんなプロンプトを入れればどう反応するのか分かり、大変勉強になりました。使い方によっては、働き方改革や授業の展開に大変寄与するものだと思うので、自分でも使い方を探っていきたいと思っています。本日は大変有意義な講座をありがとうございました。
- チャットGPTは、エクセルの数式を調べる程度しか活用したことがなかったので、いろいろな使い方を教えていただきありがたかったです。特に、私は文章を書くことが苦手なので、文章校正ができるのはとても嬉しいと感じた。今後も活用していきたい。最後にアンケートの分析もできることを少し教えていただいたので、生成AIをしっかり活用できれば、作業の時間短縮にとっても有効だと感じた。

Canva For Educationなら、保護者の許可があれば小学校でも利用できます。今後は、働き方改革、授業での実践的な活用事例や、児童・生徒AIリテラシーを扱ったAIに関連する研修講座を構築していきたいです。（中澤 康匡）

～教育研究委員会の授業公開から～

算数・数学科研究委員会 南部小学校6年 公開授業から

算数・数学科研究委員会では、「子どもたちの主体性を育む算数・数学の支援 ～自ら問いを設定する学習を通して～」をテーマに実践研究に取り組んできました。

【目指す子どもの姿】

【自学自習の資質能力】の3つの観点のうち、「みらい」に重点を置き、「自信をもって行動し、新しいことに挑戦」する姿を目指す。

＜6年「データの整理と活用」の授業から＞
授業者は、「算数を活用することでよりよい問題解決できる」という算数のよさや算数を活用することの楽しさを味わい・算数を学ぶことの意義を実感できることを目指して、次の活動を仕組みました。

【単元・授業の構想にあたって】

- 「非認知能力を育成するための手立てと働かせたい数学的な見方・考え方」
- ・子どもの発見や疑問を記入する振り返りシート（「問いストーリー」）の活用
 - ・単元を貫くテーマの設定
 - ・生データを用いた統計的な問題解決

時計を見ずに、自分の感覚で60秒を計る「60秒ピタリゲーム」の結果のデータを用い、代表値やデータを整理することを学んできた児童たちは、国語で学習した「時計の時間と心の時間」での「（時計を見ずに30秒を計測したとき、実際に経過していた時間は、）朝や夜は昼に比べて長い時間がたっていたことがわかります」という記述を想起し、「朝と午後に行った『60秒ピタリゲーム』の結果では、どちらの方がより60秒に近いと言えるのだろうか」という疑問をもちました。その後、実際に自分たちで、朝と昼に計測し、本時はそのデータを用いて追究していきま



【グループでの意見交換】

本時A児は、朝と昼の両方のデータについて、度数分布表からヒストグラムを作成し、それを比べることで、「55秒以上65秒未満で比べてみると、朝は19人だったけど、午後の方は22人だった。65秒以上の人数も朝の方が多いで、午後の方が結果がよいと思う。」と分析していました。またB児は、平均値や中央値を比べ、昼より朝の方がその値が大きいことから、「国語の教科書にあった話は本当だった」と記述していました。

自分たちが設定した問いを、PPDACサイクルを用いて主体的に解決していく姿が見られました。

◇参観者の感想から

子どもたちは、表や値を根拠にして、グループ追究で語り合っていた。友だちの説明を聞いて、「そういうことか」と納得している姿から、算数で問題解決する良さを味わっていたと感じた。

（高野 勉）

理科研究委員会 裾花小学校5年 公開授業から

理科研究委員会では、「子どもが主体的に問題解決していく理科学習」をテーマに、授業研究に取り組んできました。

【本時つける力◎・願う児童の姿○】

- ◎流れる水の速さと侵食の関係を実験を通して、捉えることができる。
- 自ら「問い」を持ち自ら学びを進める児童
- 自分の考えを伝え他者の考えを聞く児童

＜5年「流れる水のはたらき」の授業から＞
授業者は、子どもの思考をつなげる展開を大切に、既習事項に着目して、侵食と流れる水の速さの関係を発見することをねらい授業を構想しました。さらに、子ども達が「問い」を主体的に追究できるように、実験装置のカーブの形をグループで決めて追究を行うように工夫を行いました。

【単元・授業の構想にあたって】

- ・実験器具の傾斜、川幅と深さ、流す水の量を一定にし、カーブの形を変化させて、グループごとに追究する。
- ・実験の様子を写真や動画で撮影し、結果の共有を行う。

前時、カーブの内側と外側で流れる水の速さが異なることを学習した子ども達は、外側の方が内側と比べ流れが速いので、地面がたくさん削れるのではないかと予想します。そして、自分の予想が正しいかどうかを確かめるために、グループでカーブの形を決め、カーブの内側と外側に旗を立て、その旗が倒れる様子をもとに予想を確かめていきました。



【実験装置に水を流し追究する姿】

実際に実験器具に水を流し旗の様子を観察すると同時に、タブレット端末を活用して、水が流れたときに地面が削られていく様子を動画に撮りました。振り返りの場面では、その動画を繰り返し確認することで、外側が内側と比べ、水の流れが速く、地面がたくさん削られていることを確認して、本時の付ける力に迫る姿が見られました。

一方で、旗を立てる位置によって内側の旗が先に倒れてしまったり、カーブのつくり方によって、川の模型が決壊したりするグループも見られた。授業者は、そのような意見も大切に取り上げ、終末の場面に位置づけていました。

◇参観者の感想から

カーブの形を自分達で決めて調べたことは、自ら学びを進める姿につながっていた。一方で、考えを伝え合う場面があまり見られなかったので、次時の共有の時間を大切にしたい。

（末松 辰規）

外国語活動・外国語科研究委員会
篠ノ井東中学校1年 公開授業から

外国語活動・外国語科研究委員会では、「子どもが動く！心が動く！英語の授業づくり～子どもが主体となる授業の工夫？」をテーマに、実践研究に取り組んでいます。

【授業者の自己課題】

生徒が主体的に伝えたいくなる言語活動の工夫

<1年「Unit4 Our New Friends」の授業から>

授業者は、子どもたちが自分の大好きな人を紹介することを通して、互いに質問をし合ったり、写真などを見せ合ったりしたりしながら、自分のことをもっと友に知ってもらえるように次の活動を仕組みました。

【単元・授業の構想にあたって】

- ・ Small Talkの設定（毎時間の帯活動として）
- ・ 「言語活動」の繰り返し
- ・ 英語科における探究的な学び
- ・ 児童生徒とつくる単元目標

単元のはじめに教師と生徒で単元目標を設定することで、子どもたちが見通しをもち、単元目標を意識しながら学ぶ姿が見受けられました。

授業の導入のSmall Talkの場面では、A児は、英語で伝えたいけれど、伝えられない表現を対話の相手から教えてもらいながら、言葉を習得し、別の友とのやり取りに生かし、自分の表現をアップデートしていく姿が見受けられました。

また、My Favorite Personを伝える場面では、B児は、はじめ、友だちに自分の大好きな野球選手を一方向的に伝えているだけでしたが、友から“Why? Is he cool?”“Do you watch baseball games?”などの質問に受け答えたり、全体で友のやり取りのよさを共有したりしたことで、少しずつ“Is she kind?”“Do you like volleyball?”など相手に合わせた表現を選択し、質問しながら相手のことを知ろうとする姿に繋がっていました。



【表現をアップデートしていくB児】

今後も、研究委員会ではこのように「実際に英語を使用してお互いの考えや気持ちを伝え合う」言語活動を大切にし、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を目指した授業研究を進めていきます。

◇参観者の感想から

子どもたちが、お気に入りの人物を友だちと紹介し合う場面では、ペアを変えながら紹介を繰り返すことで、原稿の紙を見なくても相手の目を見て話すことができるようになった姿から、繰り返し言語活動を行うことの大切さを学びました。

(丸山 拓磨)

体育・保健体育科研究委員会
櫻ヶ岡学校1年 公開授業から

体育・保健体育科研究委員会では、「『自ら学び共に育つ』体育学習の在り方～体育・保健体育のチカラ再考～」をテーマに実践研究に取り組んできました。

【授業者が願う生徒の姿】

その運動を「深めたい」という思いをもって、挑戦していく姿（みらい）

<1年「跳び箱運動」の授業から>

授業者は、すべての子どもたちが、技ができたり、技の出来映えが高まったりする楽しさや喜びを味わえるように、本単元を構想しました。

【単元・授業の構想にあたって】

- ・ 単元前半には、すべての生徒が「台上前転」を追究し、後半には一人一人が自分の選んだ技に挑戦していく展開を位置付ける。
- ・ 台上前転の学習を通して生まれた「ダイナミック」と「なめらか」という生徒の願いを、技の違いを越えた追究の視点として位置付ける。

ワークシートに本時の願いを記入した生徒たちは、セーフティマットが置かれた易しい場や、高さの違う跳び箱を選択し、自分が選んだ技の追究を始めました。授業者は、繰り返し練習する生徒に「脚はどうしたらいいのかな？」と問い掛けたり、「いいね。膝が伸びてきたね。」と肯定的な言葉を投げ掛けたりしていきます。

A生は、タブレットに保存されていた資料から、技の連続写真を選択し、前時の自分の試技と見比べる中で「腰の高さが低い」という課題を見いだしました。その解決に向けた練習方法を考え始めたA生は、ロイター板で弾む練習を繰り返しましたが「何か違う」とつぶやき、着地用のマットに移動し、倒立の練習を始めました。



【練習するA生】

本学級では、直前にマット運動を学習しており、そこでの学習経験や学習成果が、単元の違いを越えて、生徒の「深めたい」気持ちを支えていました。

◇参観者の感想から

Bさんは、本時20回以上挑戦していました。このBさんの挑戦を支えたのはCさんの存在でした。アドバイスをする姿が素敵でしたが、C生は自分の技に1回しか挑戦できませんでした。きっと私の授業にもCさんがいるはずです。私も、授業者の先生がおっしゃるように「運動が上手な生徒も、苦手な生徒もみんな一緒に楽しめる体育授業」を目指します。

(大野 高志)

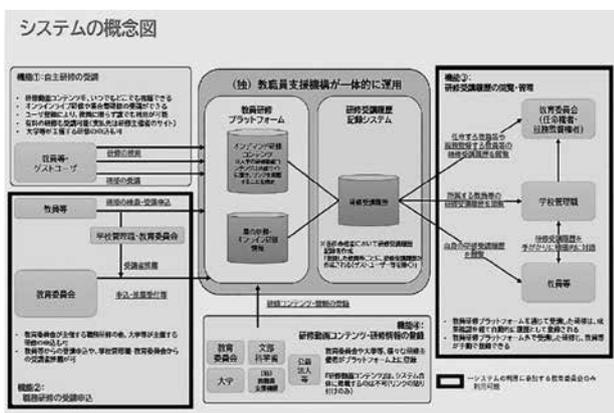
新しい研修制度と 全国教員研修プラットフォーム 『Plant』

令和3年の中央教育審議会審議まとめにおいて示された、「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて2つのことが令和5年度より制度化されました。

- ①研修受講履歴記録の作成
- ②研修受講履歴等を手がかりとした資質向上のための対話と奨励

この2つが効率的かつ効果的に実現できるようにするため、文部科学省は、研修の受講や受講履歴記録の作成をオンライン上で一元的に行うことができる全国教員研修プラットフォーム『Plant』を構築しました。

そして、令和6年4月からは、独立行政法人教職員支援機構（Nits）が運用管理を行っています。



上の図にも示されているように大きく4つの機能があります。

- ①自主研修の受講
 - ・研修動画コンテンツをいつでもどこでも視聴できる。
 - ・有料の研修も受講できる（教職員支援機構、教育委員会、大学、民間等が提供する質の高い研修コンテンツを一元的に収集・整理・提供できる）
 - ・ゲストユーザーという形で教員以外も利用が可能
- ②職務研修の受講申込
 - ・教育委員会の主催する職務研修などの申し込みがオンラインでできる。
 - ・教員個人の申し込みに加え、管理職や教育委員会からの受講者推薦ができる。
- ③研修受講履歴の閲覧・管理
 - ・『Plant』を通じて受講した研修は、成果確認を経て自動的に受講履歴として登録される。
 - ・『Plant』以外で受講した研修についても手動で登録することができ、個々で受講履歴が管理できる。
- ④研修動画コンテンツ・研修情報等の登録
 - ・教育委員会や大学等研修主催者が『Plant』上に研修を登録することができる。

【『Plant』の現状】

『Plant』は現在、全国小・中学校教員が登録・利用し、空き時間を利用して自由にオンラインで研修を受けることができるようにするため、多数の研修動画を提供しています。

長野県教育委員会でも、本年度中に県内の教員のアカウントの整備を行い、来年度（令和7年）の4月から利用できるようになる予定です。

長野市教育委員会としましては、人事異動（他郡市に出られる先生方や他郡市から来られる先生方）に影響が出ないように、県の担当者と連絡を密に取り、長野県教育委員会のシステム運用に準じて、準備を行っております。

【『Plant』活用の見通し】

本市では、令和7年度から、個々のアカウントでログインができるようになり、一部の研修動画を視聴することが可能になります。

そして、令和8年度からは、長野市教育センターの研修講座も『Plant』を通して受講申込が可能となり、『Plant』を通して受講した研修講座については、自動で受講履歴に登録されるようになります。

さらに、新しい研修制度と合わせて、現在、使用している「私の研修履歴」を併用していくことで、先生方が「これまでの研修」と「これからの研修」を意識し、主体的に研修を行っていただけるような仕組みも検討してまいります。

全国教員研修プラットフォーム『Plant』のシステムを活用することで、先生方は自主研修を手軽に行うことが可能となり、長野県の教員育成指標に合わせた受講履歴も自動的に作成できるようになります。当センターでも、一人一人の教師の主体的・個別最適・協働的な学びを支援できるような研修を構築してまいります。

【課題とこれから】

令和7年度、長野市では、個々の先生方のアカウントの整備がされ、ログインをして自主研修を行うことは可能になりますが、『Plant』を利用したの長野市教育センターの研修講座の受講の申し込みは行いません。来年度も引き続き、現行の受講登録システムと併用して運用していく見通しです。令和8年度の導入に向けて、試行期間を取るなど準備と実証を行い、令和8年度の4月には、スムーズに運用ができるようにしてまいります。

（末松 辰規）

編集後記

インフルエンザの流行に加え、マイコプラズマ肺炎等の感染症が増加しています。手洗いなどの感染対策を徹底しましょう。

来年もどうぞよろしくお願ひします。